



RBC BlueBay
Asset Management

市場の融合: ハイ・イールド債投資へのグローバルアプローチ



クラウディオ・ダ・ガマ・ローズ
クライアント担当ポートフォリオ
・マネジャー
グローバル・レバレッジド・ファイ
ナンス・チーム

2025年9月

グローバル・レバレッジド・ファイナンスチームのクライアント担当ポートフォリオ・マネジャーであるクラウディオ・ダ・ガマ・ローズが、欧州および新興国市場（EM）のハイ・イールド（HY）債の台頭がいかに関投資家に新たな機会を生み出しているかを解説します。

ポイント

- ▶ 歴史的にみて、米国のHY債が市場を支配してきました。しかし、欧州およびEMのHY債の台頭は、分散とリターン向上のための新たな機会を生み出しています。
- ▶ このグローバル・アプローチは、特定のセクターに地域ごとに偏りがあることで、セクターの分散を高めます。
- ▶ これらのセクターは先進国市場（DM）の同業他社を補完し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性を高めています。

ハイ・イールド債は最近、投資家の関心を集め続けており、この資産クラスへの投資は、魅力的な利回り、堅固なファンダメンタルズ、分散効果、有利な法規制の追い風など、いくつかの説得力のある要因がその裏側にあると考えています。さらに、グローバルのHY債市場は過去20年間で大きく成長し、2005年の8,000億米ドルから現在の2.3兆米ドルまで拡大しました。このような成長により、ハイ・イールド社債は、米国と並んで欧州や新興国市場（EM）の存在感が増し、真のグローバル資産クラスへと変貌を遂げました。EM市場とDM市場を組み合わせることで、投資家は地域を超えて魅力的な機会を提供する分散されたポートフォリオにアクセスすることができます。

歴史的にみて、米国がHY債市場の多くを占めていました。しかし、欧州およびEMのHY債の台頭は、分散化とリターン向上のための新たな機会を生み出しています。このグローバル・アプローチは、資産クラスがBB-の平均格付けと3年のデレーションを維持しつつ、クレジットの質を損なうことなく、上乘せされたスプレッドへのアクセスを可能にします。さらに、セクターの分散効果を高め、投資家が地域ごとに異なる機会をとらえることを可能にします。

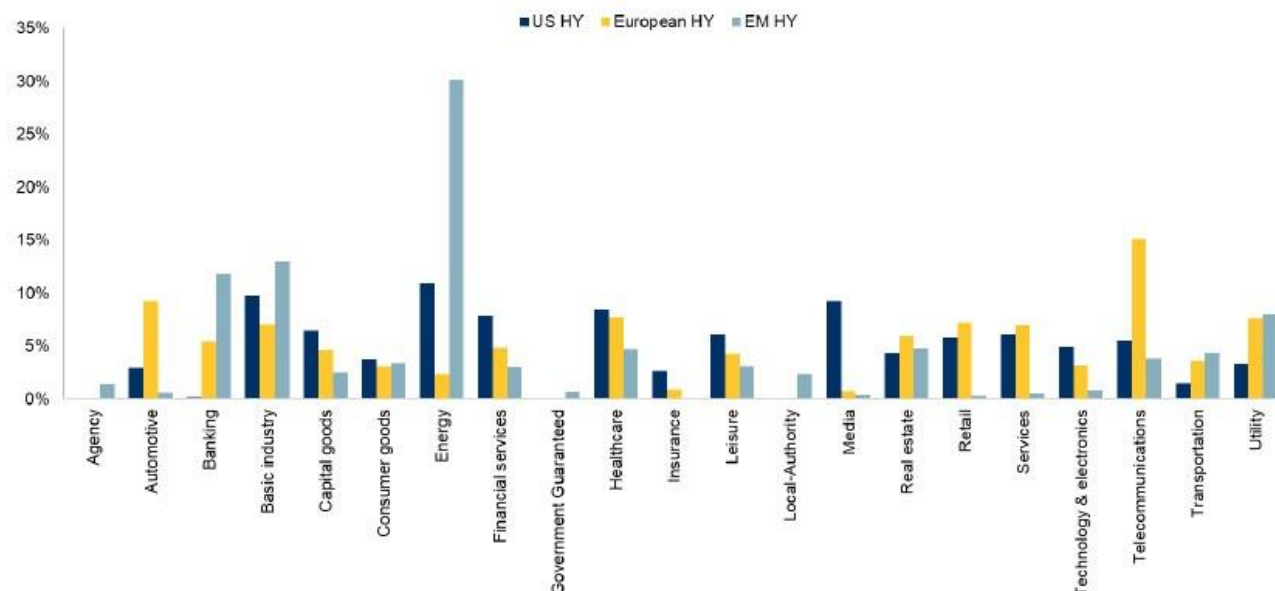
米国・欧州・EMの社債発行残高（単位:10億米ドル）



出典: ICE BofA、2025年7月31日時点。European HY IndexはICE BofA European Currency HY Constrained Index、EM HY IndexはICE BofA HY EM Corporate Plus Index、U.S. HY IndexはICE BofA U.S. HY Indexを表します。

米国のHY市場は、業界再編や魅力的なM&Aのホットスポットとなっているメディアセクターに大きなエクスポージャーがあります。欧州のHY債は、通信セクターへの比重が高く、安定的かつ反復可能な収益で知られているディフェンシブなセクターです。一方、EMのHY社債は、銀行だけでなく、エネルギーや基礎産業といった資源セクターに偏重しています。これらのセクターはDMの同業他社を補完し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性を高めています。

欧州、EM、米国のHY債のセクターウェイト比較



出典: RBC GAM、ICE BofA、2025年7月31日時点。European HY IndexはICE BofA European Currency HY Constrained Index、EM HY IndexはICE BofA HY EM Corporate Plus Index、U.S. HY IndexはICE BofA U.S. HY Indexを表します。

長い間、グローバルのHY市場は、エネルギー危機や新型コロナウイルスのパンデミックのような市場のストレスがかかる時期に耐性を示してきました。このような厳しい市場環境においても、魅力的な利回りを提供しながら元本を守る力を示してきました。好調な市場環境の中でも、高いリターンをあげており、さまざまな市場サイクルを通じて良好なパフォーマンスを発揮する可能性があることを裏付けています。

EMとDMの機会を組み合わせることで、グローバルHY市場は、景気サイクルを乗り越え、長期的な価値を達成するための、分散され回復力のあるアプローチを提供します。

ディスクレマー

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号
一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等
当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下になります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることになります。

（年率、税抜き）	債券戦略				株式戦略
	ベンチマーク戦略	トータル・リターン戦略	絶対リターン戦略	プライベート戦略	
運用管理報酬（上限）	0.70%	1.30%	1.30%	1.55%	1.00%
成功報酬（上限）	-	20.00%	20.00%	20.00%	-

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。
この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク
投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。
価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク
為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク
信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク
流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク
カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク
なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。
本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上